**様式第１号**

申込日：令和　　年　　月　　日

**災害救助法の住宅の応急修理申込書**

輪島市長　坂口　茂　様

　住宅の応急修理を実施されたく申し込みます。

　なお、住宅の応急修理の申し込みに関して、世帯員の収入、世帯構成を市の担当者が調査・確認することに同意します。

【被害を受けた住宅の所在地】

【現在の住所】

【現在の連絡先（ＴＥＬ）】　　　　　　　　　　（自宅・携帯・勤務先・その他）

【生年月日】 大正・昭和・平成　　年　　月　　日生

【氏　　名】

**１　被災日時**　　　　　令和６年１月１日

**２　災害名　　　　　　（　令和６年能登半島地震　）**

**３　住宅の被害の程度**　　全　壊、　大規模半壊、　中規模半壊、

半　壊、　準半壊

〇　市が発行する「り災証明書」に基づき、被害の程度に“〇”を付けてください。

〇　「資力に係る申出書」（様式第2号）も併せて提出してください。

**４　被害を受けた住宅の部位**

（※該当箇所に○をつけてください。）

**・**　屋根　　　　　**・**　サッシ

**・**　柱　　　　　　**・**　上下水道の配管

**・**　床　　　　　　**・**　ガスの配管

**・**　外壁　　　　　**・**　給排気設備の配管

受付欄

市町にて受付日・受付番号を記載

**・**　基礎　　　　　**・**　電気・電話線・テレビ線の配線

**・**　梁　　　　　　**・**　トイレ

**・**　ドア　　　　　**・**　浴室

**・**　窓　　　　　　**・**　その他（　　　　　　　　　　　）

**様式第２号**

**資力に関する申出書**

輪島市長　坂口　茂　様

　私、　　　　　　　　　　　　　　　　　　　は、**（令和6年能登半島ss地震）**のため、住家が半壊しております。

　住家を修理する資力が下記の理由のとおり不足するため、応急修理を実施していただきますようお願いします。

記

※世帯の収入の状況、資力が不足する理由を具体的にご記入ください。

 **（記入例）**

　　・住宅ローン、教育ローン等を組んでおり、手持ちの現金もほとんど無いため、応急修理費用が工面できない。

 ・日常生活費や教育費等の支払いで余裕がないため、応急修理を実施する資力がない。

　　・年金収入のみのため、応急修理を実施できる資力がない。

　　・介護費用などの出費で余裕がなく、応急修理を実施できる資力がない。

令和　　年　　月　　日

申出者　　　被害を受けた住宅の所在地

現在の住所

氏　名

様式第６号

印紙

貼付

請　　　書

１　件　　名：　　　　　　　邸 応急修理業務

２　履行場所：　輪島市

３　履行期間：　令和６年　　月　　日から令和６年　　月　　日まで

４　契約金額：　金　　　　　　　　　円也

 　　 （うち取引に係る消費税及び地方消費税の相当額を含む。）

５　契約保証金：免除

６　請求条件　：市の検査に合格したときは、所定の手続きに従い代金の支払を請求する。

７　契約金額の支払い：

検査合格後適法な請求書を受理した日から30日以内

８　申込書受付番号：令和　　年　　月　　日　　　第　　　　　号

　輪島市財務規則、協議等承諾のうえ上記のとおり引き受けます。

令和　　年　　月　　日

輪島市長　　坂　口　　茂　様

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受注者： | 住所 |  |
|  | 氏名 |  |

様式第７号

令和　　年　　月　　日

**応　急　修　理　完　了　報　告　書**

輪島市長　坂口　茂　様

　　　　　　　　　　　　（施工業者）

　次の被災者住宅について、別添修理見積書（写）のとおり応急修理を完了しましたので、報告します。

１　被災者住所・氏名

　　　住所

　　　氏名

２　被害を受けた住所の所在地

３　受付番号

４　完了年月日　　令和　　年　　月　　日

【添付書類】

・修理見積書（写）

・修理写真（修理前、修理中、修理後）報告書

**応急修理（修理前、修理中、修理後）工事写真台帳**

　　　　《　　　　　　邸　応急修理状況報告》

（１／　　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 工事箇所（記入例） | 工事箇所 |
| 修理の説明 | 外観（屋根損傷、2階傾き、建具の損傷、雨樋破損、外壁剥落等） |  |
| 修理前写真 | 修理前写真 |  |
|  |  |  |
| 修理中写真 | 修理中写真 |  |
|  |  |  |
| 修理後写真 | 修理後写真 |  |

《　　　　　　邸　応急修理状況報告》

（２／　　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 工事箇所 | 工事箇所 |
| 修理の説明 |  |  |
| 修理前写真 |  |  |
|  |  |  |
| 修理中写真 |  |  |
|  |  |  |
| 修理後写真 |  |  |

　　　　《　　　　　　邸　応急修理状況報告》

（　　／　　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 工事箇所 | 工事箇所 |
| 修理の説明 |  |  |
| 修理前写真 |  |  |
|  |  |  |
| 修理中写真 |  |  |
|  |  |  |
| 修理後写真 |  |  |

適宜、ページは増やしてください。

**住宅の被害状況に関する申出書**

**（住宅の応急修理に関する参考資料）**

令和　　年　　月　　日

輪島市長　宛

住所

氏名

※　災害救助法に基づく住宅の応急修理制度とは、**自らの資力で**修理を行うことができず、当面の日常生活に**最低限必要な場所を確保できない方**に対して、**必要最小限の修理**を行うものです。

**１　応急修理対象箇所について**

　　修理を希望する箇所は以下の部分です。

　　※　この制度で修理できる部分は、日常生活に欠かせない居室（居間・寝室）・

　　　炊事室・便所・浴室これらをつなぐ廊下です

修理対象箇所

**２　床について　１**の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

　（※　床の構造は、床組（床の骨組み）＋床の下地板＋表面の仕上材からなってい

ます。）

□　床組　または　下地板　が壊れている。

□　下地材が吸水により変形、床下の湿気・悪臭・汚損がある。

□　仕上材のみの不具合　→　制度の対象外です。

**３　壁について　１**の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

|  |  |
| --- | --- |
| （※壁の構造は、 | ①　柱・はり＋下地材＋表面材（壁紙など） |
|  | ②　柱・はり＋仕上板（プリント合板・板など） |
|  | ③　柱・はり＋竹組下地＋塗仕上げ　　　からなっています。） |

□　柱・はり　または　下地板　が壊れている。

□　下地板・仕上板が地震により変形しており、日常生活に支障がある。

□　下地板・仕上板が吸水により湿気・悪臭・汚損があり、日常生活に支障がある。

□　壁紙がはがれているのみ　→　制度の対象外です。

**４　屋根について　１**の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

　（※屋根の構造は、小屋組＋屋根の下地材＋表面の仕上材からなっています。）

□　屋根の瓦等の仕上げ材、下地材　が壊れている。

□　雨漏りにより、天井・内壁・床に大きな被害があり、１室以上を使用できない。

□　屋内に浸水した痕跡がみられない、浸水被害が軽微　→　制度の対象外です。

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号 | 第　　　　　号 |
| 申込者 |  |

※受付後は最後に綴ってください。

**「住宅の応急修理」申込チェックシート**

**【必要書類】**

○ 必要書類はそろっていますか？　※順番どおりに綴ってください。

□　申込書（※申込書は「り災証明書」の世帯主になっていますか？）

□　り災証明書（写し）

□　**修理前の被害状況が分かる写真**

□　修理見積書（※後日提出も可ですが、工事決定には必要となります。）

□　資力に関する申出書

　　　→　借家の場合　□貸主の理由記入・署名・押印がありますか？

□　住宅の被害状況に関する申出書

**【対象者要件】**

○「被害の区分」はどれに該当しますか？（り災証明書を確認）

　□　全壊　　　□　大規模半壊　　　□　中規模半壊

□　半壊　　　□　準半壊

○ 「賃貸型応急住宅」を利用する予定はありますか？

　□　利用しない　　　□　申請している

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

**【修理見積書依頼状況】**

□　依頼済・・・・・・・・・・・・・・分かる範囲で記載

□　未依頼（修理業者の当てはある）

□　未依頼（修理業者を探している段階）

|  |
| --- |
| 修理業者名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　修理業者への応急修理の説明：　未　　　　済（修理見積書、写真、誓約書、業者願書、債権者登録の説明を忘れずに）工事完了：　　済　　　　、工事中：　　　　　頃に着工、　　未定 |

|  |  |
| --- | --- |
| 受付担当者 |  |

(参考様式)

令和　　年　　月　　日

申　立　書

輪島市長　坂口　茂　様

（施工業者）

住宅の応急修理の依頼を受けましたが、すでに（　着手　・　完了　）しており、（　施工前 ・ 施工中　）の写真が撮影できませんでしたので、下記のとおり申し立てます。

記

１　被災者住所・氏名

　　　住所

　　　氏名

２　対象住宅所在地

３　受付番号

４　修理前の状況

５　修理の内容

※４・５については図面（略図でも可）に該当箇所と内容を示すこと